

令和3年度 第1回理事会議事録

1. 開催日時及び場所

(1)開催日時 令和3年6月2日(水) 15時03分～16時18分

(2)開催場所 遠藤専務理事自宅

(3)開催形式 web会議システム「Zoom」による開催

<https://zoom.us/j/91962283138?pwd=MDVDRDV6Y0FVeVI5WENKczJMMDJMQT09>

ミーティングID: 919 6228 3138 (今回1度きりのID)

パスコード: 975605 (今回1度きりのパスワード)

議長代理の遠藤専務理事は開催場所から出席し、当該開催場所に存しない理事及び監事は各自の居場所から上記のweb会議システムにより出席した。

なお、事務局の小定弘和、安田みおは、財団事務所より理事会に参加した。

2. 理事数及び出欠理事数

(1)理事数 10人

(2)出席理事数 9人

(3)欠席理事数 1人

3. 出欠理事の氏名

出席者:遠藤守、稲田伊彦、麻生茂、上垣内茂樹、高田正隆、虎野吉彦、中澤孝、藤島豊久、室山哲也

欠席者:松本晟、

4. 出席監事の氏名

富田力夫、棚橋秀行

5. 事務局の氏名

小定弘和、安田みお(議事録作成)

6. 審議事項

第1号議案 令和2年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

7. 報告事項

(1) 令和3年度子どもゆめ基金(子ども向け教材開発・普及活動助成)について

8. 議事の経過の要領及びその結果

事務局小定がzoomホストとして、web会議システムにアクセスする出席者全員を受入れた後、遠藤専務理事により、一人ひとりに、音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、相互に十分な議論を行うことができる環境であることを確認した。

(1) 理事会開会宣言

遠藤専務理事より、松本理事長の欠席を受け、理事会運営規則第6条に基づき、議長代行として議長を務める旨の説明を行い、理事会開会を宣した。

(2) 出席者と定足数の報告

遠藤専務理事より、定款第34条に規定する定足数を満たしており、本理事会が成立している旨を報告した。

(3) 本日の資料確認

事務局 安田より、昨日メールでお送りした理事会資料について確認を行った。

(4) 令和2年度第4回理事会議事録確認

遠藤専務理事より、令和2年度第4回理事会議事録について確認したところ、特に意見等なく承認された。

(5) 審議事項

【第1号議案】 令和2年度事業報告書(案)及び収支決算書(案)について

事務局 小定より、資料No.1に基づき、令和2年度事業報告書(案)について説明を行った。

遠藤専務理事より、事業報告書について意見を求めたところ、次の意見及び質疑応答があった。

室山理事より、オンラインが中心となり新しい事業の取り組みを行った結果、何が良かったか、また課題があれば教えて欲しい。

小定より、良かった点としては、オンラインで実施することにより、分団に所属していない団員やこれまで遠くて参加が困難な団員も参加することができた。指導者セミナーについては、オンラインで実施することにより最寄りの会場に出向くための交通費がかからないという利点がある。その一方で、リアルな参加者同士の交流が持てないため、新規分団結成、新規リーダー獲得としての場に繋がらないということが上手くいっていないと感じている旨、説明を行った。

稲田理事より、筑波スペースキャンプは通常子どもが対象のところ、今回は子どもと保護者のペアで参加してもらい、保護者は普段とは違う子どもの様子を身近で見られたこと、そして保護者も一緒に楽しんでもらうことができた点が良かったと思う旨、意見があった。

麻生理事より、宙教育指導者セミナーを全てオンラインで実施してきたことから、6月19日、20日のJAXA宇宙教育シンポジウムでは、YACのオンラインセミナーの開催方法を紹介して欲しいと依頼を受けている。

また、参考資料の団員推移表のとおり、団員数の減少に歯止めがかからなく更にコロナの影響を受けて減っている状況から、できるだけオンラインをフルに活用して減少を食い止めたい。そのために、団員全員がオンラインで参加できる環境であるか否かの調査を今年度したいと思っており、オンラインに参加できない団員がいる場合にはどのようなサポートが必要かという点が課題だと考えている旨、発言があった。

藤島理事より、宙教育指導者セミナーとコラボして衛星データ利用プログラムを学んでくれた先生が、実際学校で子ども達に教え、クラス単位や個人で衛星データ利用コンテストに応募してくれる。応募件数は当初より減ってはいるが、継続して情報提供していきたい旨、発言があった。

上垣内理事より、令和2年度の活動ではないが、YACの認知度を上げるためにYouTubeで星出宇宙飛行士の打上げを、NASAテレビを見ながら解説するというものをJAXA放送とは別の切り口で試行的に行った。去年の活動(zoomを使ったオンライン)は申込をして参加してもらう形であったが、YouTube放送の場合は申込がいらないのでこのような活動を続けていき知名度を上げていきたいと思う旨、発言があった。

室山理事より、zoomを沢山使うことにより、海外とディスカッションしたり日頃会えない人と会話ができたりする。リアルでなければ出来ない部分とそうでない部分を組み合わせることがこれから大切である。コロナを超えてこれからオンラインあるいはオンラインと組み合わせたハイブリットを戦略的に組立てて今までできなかったウイングを広げていくことが必要である旨、発言があった。

虎野理事より、2. 情報発信(宇宙教育テレビ、宇宙情報誌等)事業の(1)「宇宙教育テレビ」放送の報告内容は、なぜ配信がなかったかを記載する必要がある旨、発言があった。

事務局小定より、宇宙教育テレビはこれまで JAXA 宇宙教育センターと協力して放送してきたが、近年宇宙教育として取り上げるテーマがなく実施に至っていない旨、説明を行い、報告書にもその理由を追記することとした。

続いて、事務局 安田より、資料No.1に基づき、収支決算書(案)について説明を行った。なお、先にお送りした「財産目録」について、科目合計に誤記があったため、資料を投影し正しい合計金額で説明を行い、後日修正資料をお送りすることとした。

今年度は、最終的にプラスとなり、前回理事会で説明したとおり、特定費用積立金とせず次年度繰越としたい旨、説明を行った。

棚橋監事より、監事監査報告書に基づき、監査の報告を行った。

遠藤専務理事より、収支報告書(案)について意見を求めたところ、次の質疑応答があった。

虎野理事より、前年度から賛助会費－30万円の減額となった企業について質問があった。

事務局安田より、減額の事情を説明した。本決算書の未収金修正について会計士の先生に相談し、適正に処理したい旨、説明を行った。

遠藤専務理事より、第1号議案について諮ったところ、全員一致で了承された。

(6) 報告事項

令和3年度子どもゆめ基金(子ども向け教材開発・普及活動助成)について

事務局 安田より、資料No.2に基づき、昨年11月に独立行政法人国立青少年教育振興機構の「令和3年度子どもゆめ基金」の子ども向け教材開発・普及活動助成に応募し、採択を受けた旨、報告を行った。

(7) その他

事務局 小定より、参考資料No.1に基づき、団員推移表について説明を行った。

上垣内理事より、YACも歴史が出てきており、団員のOB、OGで宇宙関連に働いている人もいるはずなので、そういった人を巻き込んで協力してもらうアイデアを考えていきたい旨、発言があった。

富田監事より、JAXA 広報部に講師派遣依頼がある際、講師が YAC のチラシを持参するなど JAXA に協力を求めてもよいと思う旨、発言があった。

虎野理事より、有償でお願いする方法もあるのではないか、との発言があった。

麻生理事より、JAXA 宇宙教育センターとの協定は今も効力は続いているか、質問があった。

事務局安田より、効力は持続していることは確認している旨、説明を行った。

室山理事より、YAC は宇宙開発の応援団なので、細かい組織論でなく日本の後進の育成という発想に立って考えるのが良いと思う旨、発言があった。

遠藤専務理事より、以上をもって全議案審議を終えたことを述べ、6月評議員会は書面評決で行い、評議員会の後に理事長互選のため臨時理事会を開催する。臨時理事会の開催方法や日程調整は事務局より連絡を行う旨、今後の予定について説明を行い、本件について意見等求めたところ、出席理事・監事全員意義なく了承された。

遠藤専務理事より、閉会を宣して令和3年度第1理事会は16時18分に閉会した。

この議事録が正確であることを証するため、議長代理並びに出席した監事は記名押印する。

以 上

令和 3年 6月 2日

(議長代理)
専務理事 遠藤 守 (押印済)

監 事 棚橋 秀行 (押印済)

監 事 富田 力夫 (押印済)